

設置記入例
(工場用)

特定施設設置届出書

〇〇年〇月〇日

〇〇〇〇 殿

住所 大津市京町4丁目1-1
申請者
電話番号 (077) 528-〇〇
氏名又は名称及び法人にあつてはその代表者の氏名 シガ工業(株) 代表取締役 〇〇〇〇



下水道法第12条の3第1項（下水道法第25条の30第1項において準用する同法第12条の3第1項）の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	シガ工業(株) 滋賀工場	※整理番号	法に定める様式に記載する義務はありませんが、参考として、 ・事業場の業種 ・作業時間 ・従業員数 ・連絡先(担当部署、担当者、電話番号など)を記載して頂くをお願いします。
工場又は事業場の所在地	大津市京町〇丁目〇〇-〇	※受理年月	
特定施設の種類の種類	65 酸またはアルカリによる表面処理施設	※施設番号	
		※審査結果	業種 電気機械器具製造業
	今回届出の対象となる特定施設の種類の種類を記載してください。水質汚濁防止法施行令別表第1又はダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第2に記載の特定施設番号と名称となります。		作業時間 9:00~22:00
△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	常時使用する従業員数 55名
△特定施設の使用方法	別紙2のとおり。		連絡先 総務課 担当 志賀太郎 tel(0748)22-7777
△汚水の処理の方法	別紙3のとおり。		
△下水の量及び水質(排出水の汚染状態及び量)	別紙4のとおり。		
△用水及び排水の系統	別紙5のとおり。		

- 備考1 申請者の氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 3 ※印の欄には、記載しないこと。
 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

*** 以降の記載については、新設、既設を問わず、事業場内に設置されるすべての特定施設、排水処理施設について記載してください。**

(別紙1)

特定施設の構造

補足説明

工場又は事業場における施設番号	無電解メッキ1号	研究開発室流し	←事業場における固有番号または呼称を記入してください。
特定施設項番号及び名称	65 酸またはアルカリによる表面処理施設	71の2イ 洗浄施設	←水質汚濁防止法施行令別表第1又はダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第2に記載の特定施設番号と名称を記入してください。
型式	ABC製作所製 メッキ施設 型式 1234号	XYZ工業製 流し 型式 999号	←施設の製造メーカー、名称、型式等を記入してください。
構造	脱脂槽 1m ³ (+水洗槽1m ³ ×3槽) メッキ槽 1m ³ (+水洗槽1m ³ ×3槽)	ステンレス製1槽式	←施設の材質、構造上の特徴を記入してください。
主要寸法	縦5000 ×横1500 ×高さ1000mm	縦500×横500 ×高さ30mm	←施設の主要寸法を記入してください。
能力	薄層コンデンサー加工 5000個/日		←施設の公称能力、生産能力を記入できる場合は記入してください。
配置	メッキ第1工場2階	研究棟内研究室内	←特定施設の設置場所を記載してください。 新設の場合は、工場内での配置場所がわかる図面を添付してください(添付書類⑤)。
設置年月日	年 月 日	△△年○○月○○日	←既設施設の設置年月日を記入してください(新設の場合は記入不要)。
工事着手予定年月日	○○年○○月○○日	年 月 日	←新設施設の工事着手年月日等を記入してください(既設の場合は記入不要)。
工事完成予定年月日	○○年□□月△△日	年 月 日	
使用開始予定年月日	○○年□□月○○日	年 月 日	
その他参考となるべき事項	新設	既設	←新設・既設の別を記入してください。

備考 配置の欄には、当該特定施設およびこれに関連する主要機械または主要装置の配置を記載すること。

(別紙2)

特定施設の使用の方法

補足説明

工場又は事業場における施設番号	無電解メッキ1号	研究開発室流し	←事業場における固有番号または呼称を記入してください。		
	別紙1と同じ記載をしてください。				
特定施設項番号及び名称	65 酸またはアルカリによる表面処理施設	71の2イ 洗浄施設	←水質汚濁防止法施行令別表第1又はダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第2に記載の特定施設番号と名称を記入してください。		
設置場所	メッキ第1工場2階	研究棟内研究室内	←特定施設の設置場所を記載してください。 新設の場合は、工場内での配置場所がわかる図面を添付してください(添付資料⑤)。		
操業の系統	薄層コンデンサー製造のメッキ工程にて使用 (フロー) 粉末原料→混練→成型→焼成→無電解メッキ(特定施設使用)→検査→出荷	製品の研究開発にて使用	←特定施設の使用の用途について記載してください。 なお、事業場内での製造工程のうち、どの工程で使用するものかを記載してください(フローを添付(添付資料⑧)し、「別添のとおり」として頂いても結構です)。		
使用時間間隔	操業時間(9時~17時)において連続稼働。 休日は原則稼働しない。	操業時間(9時~17時)において連続使用。	←特定施設の使用時間を記入してください。 変動がある場合は、その内容を記入してください。		
1日あたりの使用時間	9時~17時(9時間)	9時~17時(9時間)			
使用の季節変動	10~12月に稼働率が上がり、休日に稼働することもある。	季節変動なし。	←特定施設の稼働率の季節変動について記入してください。		
* 水質汚濁防止法施行令第2条に規定する有害物質を使用する場合は、その旨を記載してください。					
原材料(消耗資材を含む)の種類、使用方法及び1日あたりの使用量	メッキ液: スーパーフレックス(商品名) 10L/日を50倍希釈して使用。 硝酸: メッキ液に5L/日添加。 添加剤: ホウ酸2kg/日をメッキ液に溶解。	実験用試薬: 別添のとおり。(鉛、ジクロロメタン、チウム使用)	←原材料が商品名の場合は、その成分がわかる資料(MSDS等)を添付してください(添付資料⑨)。 また使用方法については、必要に応じて説明資料を添付してください(添付資料⑨)。		
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	BOD	400	600		
	T-N	100	120		
	ホウ素	10	20		
	鉛			<0.005	<0.005
	ジクロロメタン			<0.01	<0.01
チウム			<0.001	<0.001	
汚水等の量(m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	
	20	50	2	10	
その他参考となるべき事項	オイルパンの上に施設を設置している。	水質汚濁防止法に規定する有害物質を含む廃液については、取り分けて産廃処理。		←地下浸透・漏えい防止対策、産廃処理している廃液等、特記事項があれば記載してください。	

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

(別紙3)

汚水等の処理の方法

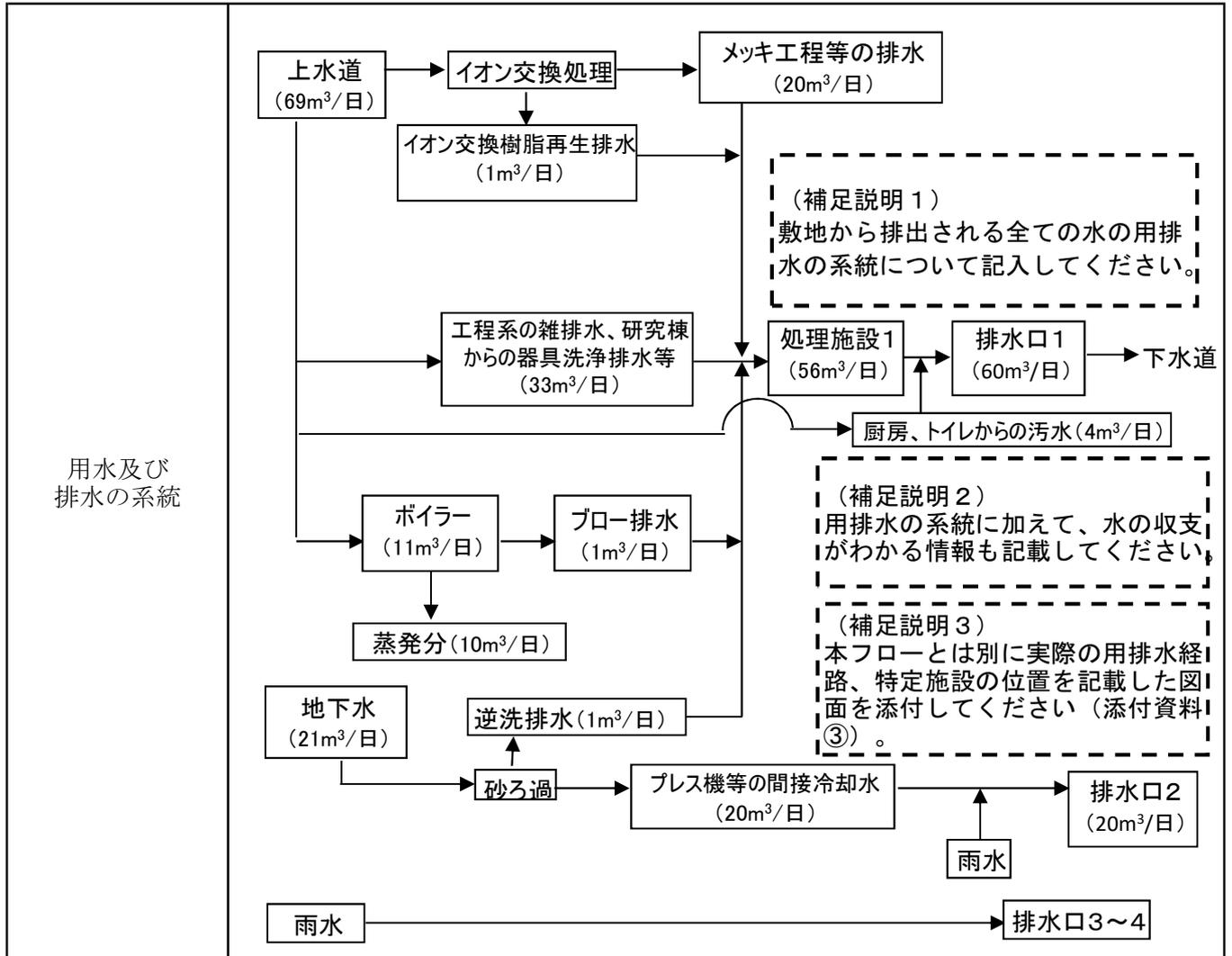
補足説明

工場または事業場における施設番号	処理施設1 (工程系処理施設)				←事業場における固有番号または呼称を記入してください。				
処理施設の設置場所	メッキ第一工場西側				←施設の設置場所を記載してください (添付資料③)。				
設置年月日	△△年○○月○○日	年	月	日	←既設施設の場合は、設置年月日を記入してください。 新設の場合、工事着手予定年月日等を記入してください。				
工事着手予定年月日	年 月 日	年	月	日					
工事完成予定年月日	年 月 日	年	月	日	←施設の製造メーカー、名称、型式、構造、主要寸法を記入してください。				
使用開始予定年月日	年 月 日	年	月	日					
種類および型式	X社製A-11号				*新設の場合、設備の寸法、能力、能力算定の根拠、処理フローがわかる書類(図面、仕様書等)を添付してください(添付資料⑥)。				
構造	鉄筋コンクリート製半地下型								
主要寸法	縦6×横5×高さ5m								
能力	100m ³ /日								
処理の方式	凝集沈殿+活性汚泥処理方式				←排水処理施設の処理方式を記入してください。				
処理の系統	原水槽→沈殿槽→攪拌混合槽→沈殿槽→調整槽→活性汚泥処理→沈殿槽→下水道放流				←排水処理施設における処理の流れがわかるフローを記載してください。				
集水および導水の方法	別紙5のとおり。				←特定施設から処理施設に排水が導入され、下水道等へ放流されるまでのフローを添付してください。(別紙5で重複する内容を求めていますので、別紙5に記載のある旨を記入してください)				
使用時間間隔	なし				←排水処理施設の使用時間間隔、1日あたりの使用時間を記入してください。 バッチ処理以外は、通常左記の様になります。				
1日あたりの使用時間	24時間								
使用の季節変動	10~12月に処理量が増加する。				←排水処理量の季節変動について記入してください。				
消耗資材の1日あたりの用途別使用量	(凝集沈殿処理) 塩化第二鉄:10kg 高分子凝集剤:0.5mL 40%苛性ソーダ:100L (活性汚泥処理) 鶏糞:2kg、米ぬか:1kg				←各処理工程毎に使用する水処理用薬品の種類と1日あたりの使用量を記入してください。				
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		←排水処理施設への流入水および処理後の水質、排水処理量を記入してください。 記入する項目は、事業場から排出される排水の状況によって異なりますが、通常は、□に囲まれている一般的な項目と、事業場内で使用する有害物質となります。 また、処理前後の水質については、排水処理施設の設計値、自主管理基準値、実績値(実績値の場合は過去1年間分程度のもの)を記載してください。			
		処理前	処理後	処理前	処理後		処理前	処理後	処理前
	pH	2~4	6~8	2~4	6~8				
	COD	700	100	900	200				
	BOD	300	100	500	200				
	SS	200	100	400	100				
	T-N	90	15	100	20				
	T-P	20	3	30	4				
	ホウ素	2	2	5	5				
	鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005				
ジクロロメタン	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01					
チラム	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001					
量(m ³ /日)	60		100						
残さの種類、1月間の種類別生成量および処理方法	無機汚泥 250kg 有機汚泥 500kg フィルタープレスにて脱水後、産廃処理								←排水処理施設から発生する汚泥等の残さの発生量および処理法を記載してください。
排水水の排出方法	排水口1から下水道へ放流								←処理水の放流方法(放流先)を記入してください。
その他参考となるべき事項									

備考1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排水水の排出方法の欄には、排水口の位置および数ならびに排出先を含め記載すること。

用水及び排水の系統



用水及び排水の系統

用途別
用水使用量

用途	使用水	用水使用量 (m³/日)
メッキ用工程用	上水道	21 (40)
その他の工程および実験用	上水道	33 (50)
ボイラー用	上水道	11 (15)
生活用	上水道	4 (4)
間接冷却用	地下水	21 (51)

用水の用途別に使用水、水量（通常使用量）を記載してください。
別紙2、3および5の排水量、上記の水の収支の数値との整合性に注意してください。

() 書きで最大使用量を記入してください。

添付書類について

必要な添付書類は原則次の通りで、毎回添付が必要な場合が異なりますので、注意してください。
 なお、届出の内容によっては、次の書類以外にも提出を求めるものがある場合がありますので、ご了承ください。

添付書類の種類		添付が必要な時
①	付近の見取図(周辺100メートル程度のもの)	毎回
②	事業場の敷地の範囲が明確にわかる書類	毎回
③	事業場の敷地内の建物配置図(特定施設および污水处理施設を赤色で囲み、用水および排水の系路、排水口の位置を明示してください。)	毎回(別紙3および5関連)
④	特定施設の構造図(カタログ、写真でよいが、型式、構造、主要寸法を明示すること。)	特定施設を新たに設置、または構造の変更を行う場合は、該当する施設についての資料を用意してください(別紙1および2関連)。
⑤	特定施設の設置場所がわかる図面(添付書類③でも結構ですが、工場建屋の2階に設置される場合などは、拡大図等が必要となります。)	
⑥	汚水等の処理施設の構造図(フローシート、設計仕様書、構造、主要寸法を明示する等してください。)	排水処理施設を新たに設置、または構造の変更を行う場合は、該当する施設についての資料を用意してください(別紙3関連)。
⑦	排水口における下水道へ排除する排水の水質が排水基準を満足できる根拠を示した書類	毎回(排水への影響がない場合はその根拠を記載してください。)(別紙3および4関連)
⑧	作業工程図(特定施設の使用箇所を明示し、作業工程時間を記入してください。)	毎回(別紙2および4関連)
⑨	その他(別紙の様式に書ききれない場合等)	別紙の様式に書ききれない場合は添付資料を用意してください。 (例) 特定施設での使用薬品リスト、成分表、MSDS等、特定施設の運営マニュアル等(別紙2関連) 排水処理施設の維持管理マニュアル等(別紙3および4関連)